

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中市東泉丘4丁目計画	階数	地上5F
建設地	大阪府豊中市	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火指	平均居住人員	124人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年5月7日
敷地面積	2,793 m ²	作成者	大橋厚夫
建築面積	958 m ²	確認日	2018年5月28日
延床面積	4,102 m ²	確認者	大橋厚夫

本図をクリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
タイル貼の外壁を基本とし、建物周囲を緑地とする事により、まとまりのある高品質な外観としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
4周にバルコニーを設置し、夏の日射抑制に配慮している。	個室面積はゆとりある大きさとしている。	敷地境界際は緑地を配置し、周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の省エネ性能を確保している。	節水に配慮し、有害物質の使用を抑えている。	敷地境界から離れた建物配置とし、周辺環境への影響に対して配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0044

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)豊中市東泉丘4丁目計画					
		建設地	大阪府豊中市東泉丘4丁目3748番1、3729番13、3729番16、3587番1					
		用途/区分	病院					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B-		
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					2		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.4	4	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.0	2	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								